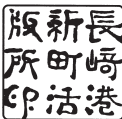




新街私塾



長崎活版製造会社之印



長崎港新町活版所印



本木家紋



大阪活版製造所マーク



本木昌造による家紋  
(大阪活版製造所マーク)



平野活版所の初期のマーク



東京築地活版製造所のマーク



本木昌造の認め印

## 例言

わが国の印刷事業はとなく奈良平安朝のむかしに寺院において創始され、久しきにわたって僧侶の手中にあった。江戸期にはいつて勅版がでて、官版および藩版がおこり、ついで庶民のあいだにも印刷事業をはじめめるものがあらわれた。

寛文(一六六一―七二)以後木版印刷術がおおいに発達して、正徳享保の時代(一七一一―三五)から木版印刷術は全国に普及をみたがそれは欧米諸国の近代活字版印刷術にくらべるときわめて稚拙なものだった。

幕末の開国とともに洋学が勃興して印刷術の改善にせまられた。